

きらり 通信

平成25年5月27日(月)発行 第13号

福島県立須賀川養護学校

tel: 0248-76-2511 fax: 0248-72-4729

ホームページ <http://www.sukagawa-sh.fks.ed.jp>

子どもたちの笑顔のために

校長 菊地 恵美子

各特別支援学校は、地域の特別支援教育のセンター的機能を果たすべく地域支援を行っています。本校においても「地域支援センターきらり」を立ち上げ、地域支援に取り組んで4年目を迎えました。幼児児童生徒や保護者、教員等の相談ニーズに応じて支援を行ったり、学校等の研修や校内支援体制作りへの支援を行ったりすることで、地域の皆様にもご理解いただくようになり、その要請も多岐にわたるようになってきたと感じていますが、地域の皆様の評価はいかがでしょうか？

- 子どもの特性を正しく理解し、適切な支援をする
- 困った行動や学習面の課題ばかりに目を向けるのではなく、うまくいっていることや得意なこと、良いところ等に目が向けられるようにする(子どもも大人も)

○ 困り感を伝えられない子どもたちにも目を向けられるようにする
子どもを取り巻く大人たちがこのような視点で関わっていくことができれば、素晴らしいと思いませんか。

「地域支援センターきらり」は、これからも地域の皆様と一緒に知恵を出し合い、子どもたちを支援していきたいと思っています。



今年度の「地域支援センターきらり」の取り組み

地域支援センター主任 星 ひろ子

昨年度はご協力ありがとうございました。今年度も次のような取り組みを計画していますので、ぜひご活用ください。

- ◎辻井正次氏による児童生徒の心のケアに関する研修会(6月)
「ストレスを軽減するための授業プログラム」
- ◎須賀川養護学校実践講座・懇談会(8月)
「授業のユニバーサルデザイン ～特性に配慮した指導・支援の工夫～」
- ◎セミナー(10月)
- ◎辻井正次氏による児童生徒の心のケアに関する研修会(11月)
- ◎須賀川養護学校授業公開・懇談会(1月)
- ◎須賀川市発達支援教室、須賀川市特別支援教育研修会、巡回相談、校内研修などへの協力(通年)

なお、7月2日(火)に学校説明会を実施します。授業参観、本校教育活動や入試などに関する説明を予定していますので、興味のある方は、市町村教育委員会、在籍校(園)または、直接本校にお問い合わせください。





「分かる」「やる気」を引き出すちょっとした工夫



「この会議は何時までかな。誰が話すのかな。」「場所が分かりにくいな。」…このような時に気持ちが向かなかったり、不安になったりすることはありませんか。でも、内容が分かる文書や見やすい標示があると見通しが持てて安心することができます。分かりやすい状況があれば「それならやってみよう。」と思えるようになります。子どもたちも同じではないでしょうか。

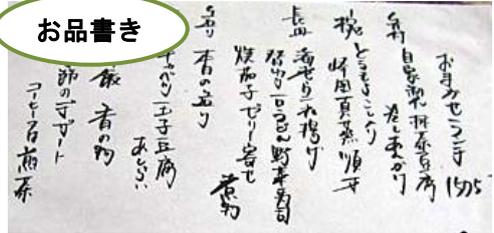
そこで役に立つもののひとつが、見て確認できる手掛かり（視覚的情報）です。「こうしてね。」と話している内容も書いて伝えると分かりやすくなります。聞いた情報は忘れることもありますが、見える情報は何度も確認できるため便利です。メモや張り紙など「情報を見えるようにするちょっとした工夫」が子どもたちの行動が変わるきっかけになるかもしれません。

(文責 大竹)



生活の中での視覚的情報

お品書き



次のメニューが分かると食事も楽しい

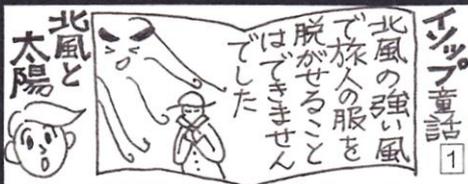


高速道路の標示



行き先によって色分けされ、通常の標示よりも違いが分かりやすい

☆きらりちゃん日記☆



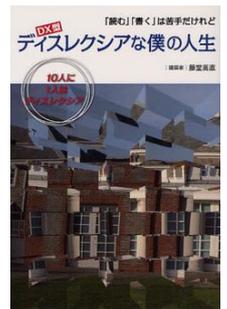
ルールや約束事をきちんと伝えることは、とても大切なことです。その際の伝え方はいろいろあります。子どもがやってみようと思える伝え方を工夫していきたいですね。

(大竹)

本の紹介

今回は、ディスレクシア（読み書きに困難さを抱える学習障がい）に関する本を2冊紹介します。

1冊目は、藤堂高直氏の『ディスレクシアな僕の人生』です。著者が診断を受けたのは、イギリスに留学していた16歳の時。「普通という鎖」から解放されて、スタディスキル（特性に合った勉強法）を身に付けながら建築家になるまでが綴られています。巻末には見えにくさを軽減するための工夫も紹介されています。



2冊目はLD（学習障がい）研究の第一人者、上野一彦氏の『LDとディスレクシア』です。困難さを抱えていても、「理解する人、支える人」の存在と「独自のやり方」を磨くことで本来の力を発揮することができる」と著者は言います。有名人の実例等、様々な角度からLDに迫った一冊です。



人はみんな違ってあたりまえ。その違いを理解した上で助け合えれば、すべての子どもにとって居心地のいい環境になるはず。もちろん、大人にとっても。

(文責 大場)